

三省堂『精選国語総合 改訂版』（国総338）評価規準例資料

学習のねらい	筆者独特の「読書のススメ」について読み取ることを学び、それを踏まえて「偶然性」と「発見」に満ちた自分の体験を振り返る。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	川上未映子「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「読書」について、筆者の言葉を通じて考えようとする。	「本を一冊手に取るという場面」に満ちている「一回性」の出会いの意味について考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	述べられる事例に着目し、筆者の考えを読み取る。	述べられた事例から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文章を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいく。	文章を，表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいく。	記述の分析
知識・理解	常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字が書けている。	常用漢字の音訓を正しく読み，主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	論旨を正確に追いながら、筆者の言う「待つこと」をめぐる考察を読み取る。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	鷲田清一「待つということ」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「待たない社会」と「待てない社会」の違いについて、筆者の叙述から考えようとする。	「待たない社会」と「待てない社会」の比較から、両者の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	「待つということ」に対する二つの考え方を理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けている。	常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	「下人」及び「老婆」のそれぞれの視点を明らかにしながら、〈語り手〉が構成する羅生門という闇の空間の意味を考えていく。		
言語活動	文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Cの(2)ア〕		
教材名	芥川龍之介「羅生門」	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、人間の生き方について自分なりの意見を持つとする。	下人の置かれている状況、老婆の考え方、二人の行動や心情の変化、場面の推移を理解し、自分の考えを持つとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	「私」を取り巻く「ゴール」の展開の仕方を踏まえ、題名に込められた意味について考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	三崎亜記「ゴール」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の設定を理解し、登場人物のあり方の変化に関心を示す。	物語の設定を理解し、登場人物のあり方の変化に関心を示そうとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

学習のねらい	論旨を正確に追いながら、筆者の言う文化の相違を読み取る。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	山崎正和「水の東西」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文化の違いについて、日本と西洋の水の比較から考えようとする。	日本と西洋の水の比較から、文化の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	鹿おどしと噴水の違いに着目して、日本人と西洋人の水に対する考え方を理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言による評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けている。	常用漢字の音訓を正しく読み、主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

学習のねらい	「言語」が「色眼鏡」であるという筆者の認識を正確に捉え、私たちが言語にどのように関わっていく必要があるのか、考えを深める。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	野元菊雄「言語は色眼鏡である」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「言語」は、それが話される社会の世界観を反映しているという考えについて問題意識を持つ。	「言語」は、世界観を反映した「色眼鏡」であることを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。	引用された事例から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	自然をめぐる「合意形成」を図るために必要な「自然」への考え方について理解し、整理する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	関礼子「自然をめぐる合意の設計」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「自然」をめぐる「遠景の語り」と「近景の語り」という相反する考え方について興味と関心を持つとする。	「自然」をめぐる「遠景の語り」と「近景の語り」という相反する考え方について興味と関心を持つとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の考えを踏まえ、「近景の語り」と「遠景の語り」の相容れなさについて読み取る。	論理の展開から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年3月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて、詳しく解説しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて、詳しく解説している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	繰り返し朗読することにより、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	「旅上」 萩原朔太郎 「サーカス」 中原中也 「I was born」 吉野弘 「崖」 石垣りん	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれている情景を把握し、作者の思いを読みとる。	一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしようとしている。	記述の確認
知識・理解	詩の表現形式や修辞を理解する。	詩の表現形式や修辞について、理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	清兵衛が瓢箪に熱中する様子，それを咎める父や教員のありようを通じて，小説が体現している世界観について考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	志賀直哉「清兵衛と瓢箪」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し，場面の推移を捉え，登場人物の抱いた気持ちについて考えようとする。	登場人物の置かれている状況や考え方，心情の変化，場面の推移を理解し，自分の考えを持つようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み，場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	文体や語りの視点に注意して，作品世界の状況を把握し，人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	「僕」の語り，他者との会話に注目しながら，「青」が消えてしまったことへの「僕」の思いについて考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	村上春樹「青が消える」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の設定を理解し，登場人物の心情に関心を示す。	「青」が消えたことを巡る，「僕」の語りや対応を通じて，「僕」のとまどいを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み，場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	比喩表現や語りの視点に注意して，作品世界の状況を把握し，人物の置かれている心情を理解している。	記述の確認
知識・理解	文章の形態や文体の違いによる特色について理解する。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物，情景，心情などを，どうして書き手がこのように描いているのかを捉え，象徴，予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	人物，情景，心情などを，どうして書き手がこのように描いているのかを捉え，象徴，予兆などに果たしている効果に気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割，などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

学習のねらい	「情報通信技術」がもたらした情報と身体の乖離についての筆者の認識を捉え、「情報通信技術」の発達がこれからの社会にどのような意味をもつのかを考える。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	吉岡洋「情報と身体」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる、情報と身体の関係を理解しようとする。	筆者が述べる、情報と身体の関係について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	電子的空間と身体的現実との往復運動の必要性に着目して、筆者が述べようとする事柄を理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	「もの」の科学から「こと」の科学へという思考の転換の必要性を、筆者の主張を通じて理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	池田清彦「『もの』の科学から『こと』の科学へ」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解しようとする。	筆者が主張を展開するために採用している論理構成を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を読み取る。	引用された事例から、筆者の考えを理解している。	記述の確認
知識・理解	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動の観察

学習のねらい	人間の認識におけるレトリック感覚の重要性を理解し、さらに異文化理解などの現代の課題におけるレトリックの有効性を学ぶ。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	佐藤信夫「コインは円形か」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	言語表現について関心をもつ。	レトリックに関心をもち、その効果について考えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に用いられている表現技法の特徴を捉える。	筆者の主張や文章の内容を捉え、レトリックとは何かを理解している。	記述の分析
知識・理解	常用漢字の読みに慣れる。	常用漢字の正しい音訓を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	近代から現代の代表的作者の手になる十六首の歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	短歌「その子二十一 短歌十六首」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	短歌を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの短歌の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	それぞれの短歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。	それぞれの短歌について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。	記述の確認
知識・理解	短歌についての基礎的な知識を身につける。	韻律や句切れなどの、短歌の基礎的な構造を理解している。	行動の観察 発言の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察 発言の分析

学習のねらい	伝統的短詩型文学である俳句の本質を理解し、俳句の表現方法についても学んでいく。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	俳句「いくたびもー俳句十六句」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	俳句を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの俳句の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	それぞれの俳句について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。	それぞれの俳句について、その情景や感動の中心について、整理して説明している。	記述の確認
知識・理解	俳句についての基礎的な知識を身につける。	季語や切れ字など、俳句の基礎的な式目について理解している。	行動の観察 発言の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察 発言の分析

学習のねらい	童話の形をとった物語の中にこめられた生命観や人間観・自然観について理解を深める。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	宮沢賢治「なめとこ山の熊」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	賢治作品の童話的な語り口のおもしろさに興味をもち、「なめとこ山」という特殊な舞台空間の中で展開される人間と動物の共生について考えをめぐらし、人間観を深める。	童話的・民話的な賢治特有の語り口のおもしろさに興味を持ち、またそれだけでなく、表現する上で「語り」が「主題」と密接に関わっていることを理解して内容に関心を深めている。	行動の観察
読む能力	「なめとこ山の熊のことならおもしろい」で始まる、民話的な語り口のおもしろさと、そういう形式によってしか表現できなかった人間と自然との関係を読み解く。	「小十郎」とそれぞれの「熊」の思いを場面場面において的確に理解している。また、それぞれの場面における〈語り手〉の思い〈楽しさ・共感・同情・怒り・悲しみ・祈り等〉についても理解している。	記述の確認
知識・理解	常用漢字の音訓や意味を理解し、読みの能力を高めるとともに、この作品に頻用されている「方言」の意味についても理解を深める。	「方言」を使用することによって広がる言葉の豊かな世界について理解を深めている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	「私」及び「大木」「西田」「原」「野田」「きぬ子」それぞれの視点を明らかにしながら、被爆体験の象徴としての「空き缶」の意味を考えていく。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	林京子「空き缶」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉えながら、登場人物の原爆との向き合い方について理解しようとする。	「私」を含めた6人が過ごしてきた戦後と心情の変化を理解し、自分の考えを持つようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	時間軸や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化を理解している。	記述の確認
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	「労働」を巡る現状の分析と、関係的存在としての人間のあり方について、筆者の主張を筋道立てて理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取舍選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	内田樹「なぜ私たちは労働するのか」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる「働くことの意味」について理解を深めようとする。	「労働」は「私ひとり」が受益者ではないという筆者の見解を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	論理展開に着目し、筆者の主張を読み取る。	労働を巡る筆者の主張を、論理展開に着目して理解している。	記述の確認
知識・理解	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせる。	読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動の観察

学習のねらい	一人の人の命は、自分以外の人の中に分配されていること、誕生には四十億年も途切れずDNAの複製が続いてきたことを知り、命の尊さを理解する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	柳澤桂子「命は誰のものなのか」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる、分配されたものとしての「命」という考え方を理解しようとする。	筆者が述べる、分配されたものとしての「命」について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	「創造」とは「古いもの」を受け入れ「新しいもの」を付け足すという筆者の主張を踏まえ、「創造」に求められる観点について理解する		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	加藤周一「創造力のゆくえ」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとする。	筆者が述べる「創造」の本質を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	筆者の論理展開に着目して、筆者が述べようとする内容を理解している。	記述の分析
知識・理解	読むことに必要な文章の組み立てについて理解する。	読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

学習のねらい	引用の役割を理解し、それを実践する。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	読解から表現へ①「引用」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分の考えを説得的に述べようとする態度を身につける。	自分の考えを説得的に述べようとする態度を身につけている。	行動の観察
書く能力	引用を用いて自分の考えを展開する。	引用を用いて自分の考えを展開できている。	記述の分析
知識・理解	執筆する内容によって効果的な引用の方法を理解する。	執筆する内容によって効果的な引用の方法を理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み，情報を得て用いようとする。	様々な情報の意味を捉え，疑問に思ったり思索したりしようとする。	行動の観察
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自分の考えが，確実な根拠に支えられ，前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。		
言語活動	反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話し合いや討論などを行うこと。〔Aの(2)ウ〕		
教材名	読解から表現へ②「比較」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分の考えを説得的に述べようとする態度を身につける。	自分の考えを説得的に述べようとする態度を身につけている。	行動の観察
話す・聞く能力	比較を用いて自分の考えを論理的に展開する。	比較を用いて自分の考えを論理的に展開している。	行動の観察
知識・理解	執筆する内容によって効果的な引用の方法を理解する。	執筆する内容によって効果的な引用の方法を理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。	目的や場に応じて，効果的に話している。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察

学習のねらい	対象の中心となる素材を取り出し、それを適切にまとめて要約を作成する。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	読解から表現へ③「要約」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア), イ(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明する。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	調査の方法を理解し、それによって集められた情報を整理する方法を学ぶ。		
言語活動	調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。〔Aの(2)イ〕		
教材名	読解から表現へ④「調査」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
読む能力	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話す。	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。	行動の観察
知識・理解	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
読む能力	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。	目的や場に応じて、効果的に話している。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察

学習のねらい	レトリックの効果と種類を理解した上で、文学作品を分析する。		
言語活動	情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。〔Bの(2)ア〕		
教材名	読解から表現へ⑤「レトリック」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選んでいる。	行動の観察
読む能力	事実や事柄などを、読み手によく分かるよう表現する。	事実や事柄などを、読み手によく分かるよう表現している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
読む能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう表現している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	調査や研究の成果を，論理的な構成物としてまとめる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し，説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	読解から表現へ⑥「論理構成」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示す。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論理の構成や展開を工夫している。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	書く「動機」と使用する「素材」に注意して、オリジナリティーにあふれた短歌を詠む。		
言語活動	情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。〔Bの(2)ア〕		
教材名	読解から表現へ⑦「オリジナリティー」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選んでいる。	行動の観察
書く能力	事実や事柄などを、読み手によく分かるよう表現する。	事実や事柄などを、読み手によく分かるよう表現している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう表現している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	「書き手」と「読み手」の立場を往還しながら、既存の文章を洗練させる。		
言語活動	優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。〔Bの(2)エ〕		
教材名	読解から表現へ⑧「推敲」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	B 書くこと エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選んでいる。	行動の観察
書く能力	事実や事柄などを、読み手によく分かるよう表現する。	事実や事柄などを、読み手によく分かるよう表現している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう表現している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	小論文を書くためのポイントを踏まえ、実際に執筆する。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	読解から表現へ⑨「小論文を書く」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	与えられたテーマに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につけようとする。	テーマを自身に引きつけ、説得的な論理展開を心がけている。	行動の観察
書く能力	文章の組み立て方に留意して、わかりやすい文章を書く力を身につける。	文章の組み立て方に留意して、わかりやすい文章を書く力を身につけている。	記述の確認
知識・理解	不特定多数の人に読まれることを意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験を交えながら文章にまとめる。	自分の意見とその意見を裏づける事実や体験が述べられている。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。	文の組立てや進め方を工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の確認

学習のねらい	「聞き手」の立場に立った、わかりやすく話すための工夫を施しながら、自分の考えや価値観を紹介する。また、「聞き手」は対話に発展するような「なぜ」の質問をする。		
言語活動	状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。〔Aの(2)ア〕		
教材名	スピーチをする－対話型スピーチ	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「わかりやすい話し方」のポイントを押さえ、その手順に従って自分のことを話そうとする。	「わかりやすい話し方」のポイントを押さえ、その手順に従って自分のことを話そうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	目的や場に応じて、効果的に話す。	目的や場に応じて、効果的に話している。	行動の観察
知識・理解	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成する。	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとする。	内容がよく伝わるように、資料や機器の使い方を工夫して分かりやすく話そうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。	目的や場に応じて、効果的に話している。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察

学習のねらい	書評合戦を通じて、話し合いのために必要な手順と目標を理解する。		
言語活動	反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話し合いや討論などを行うこと。〔Aの(2)ウ〕		
教材名	話し合いをするーブッククラブ	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話し合うことの目標を理解し、その目標に向かうための合意形成を積極的に行おうとする。	話し合うことの目標を理解し、その目標に向かうための合意形成を積極的に行おうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	話し合いの流れの中における自分の発言が果たす役割を認識する。	話し合いの流れの中における自分の発言が果たす役割を認識している。	行動の観察
知識・理解	他者の発言を受けた上で、自己の発言を重ねていく。	他者の発言を受けた上で、自己の発言を重ねていくことができる。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	話し合うことの目的が、合意を形成したり思考の深化を図ったりすることであることを認識している。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すこと・聞くことにおける言語運用が、議論の流れの中で建設的なものとして機能している。	行動の観察

学習のねらい	発表のための手順とポイントを理解し、まとめたフリップに沿って自分の考えを述べる。		
言語活動	調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。〔Aの(2)イ〕		
教材名	プレゼンテーションをする－五枚のフリップを使って	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話す。	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。	行動の観察
知識・理解	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	目的や場に応じて、効果的に話そうとする。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	目的や場に応じて、効果的に話している。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断しようとしている。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すことに必要な、語句の構造的な仕組みについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	反対側の立場を尊重しながら、ジャッジを納得させるための討論を行う。		
言語活動	反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。〔Aの(2)ウ〕		
教材名	ディベートをするーマイクロディベート	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A 話すこと・聞くこと ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとする。	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合おうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合う。	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。	行動の観察
知識・理解	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断する。	調べたことを整理し、異なる立場に立つなど多角的に分析し、自分なりに判断している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の方法や進行の仕方などを工夫して話し合おうとする。	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合っている。	行動の観察
話す・聞く能力	課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の方法や進行の仕方などを工夫して話し合っている。	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すことに必要な、語句の構造的な仕組みについて理解している。	行動の観察

学習のねらい	日常生活の中で出会ア・ウリふれた光景や体験を新鮮な感覚で捉えなおし、そこに広がる意味を随筆としてまとめる。		
言語活動	情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。〔Bの(2)ア〕		
教材名	随筆を書く―一枚の写真から	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明する。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

学習のねらい	手紙の形式について理解を深め、知識を身につける。また、理解や知識を活用して、実際に手紙を書く。		
言語活動	相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。〔Bの(2)ウ〕		
教材名	手紙を書く－依頼の手紙	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	B 書くこと ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶとする。	書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶとしている。	行動の観察
書く能力	文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書く。	文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字を文脈に応じて正しく書く。	主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論理の構成や展開を工夫している。	自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	調査や研究の成果を，レポートとしてまとめる。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し，説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	レポートを書くー見取り図をもとにして	配当時間	6
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示す。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	書くことに必要な文章の組立てについて理解する。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	行動の観察
書く能力	論理の構成や展開を工夫している。	自らの思考の過程を整理し，論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	意見文を書く基本を学習する。また、話し合いや相互批評を通して、自らの問題意識のありようを自覚する。		
言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。〔Bの(2)イ〕		
教材名	意見文を書く－新聞投書	配当時間	6
学習指導要領の指導事項	B 書くこと イ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	身の回りや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につけようとする。	身の回りや社会に目を向け、そこから問題を発見しようとしている。	行動の観察 発言の確認
書く能力	文章の組み立てや題名の付け方に留意して、わかりやすい文章を書く力を身につける。	書かれた投書が、教科書の「投書を書くためのポイント」をおおむね満たしている。	記述の確認
知識・理解	不特定多数の人に読まれることを意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験を交えながら文章にまとめる。	自分の意見とその意見を裏づける事実や体験が述べられている。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。	文の組立てや進め方を工夫して書こうとしている。	行動の観察 発言の確認
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の確認

学習のねらい	統計資料の読み方を学習し、それに対する自分の考えをわかりやすく書く。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	情報を読むー統計資料の読み方・扱い方	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	さまざまなメディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。	図書館やコンピューターを利用した情報の収集ができ、その情報が伝えようとする内容を理解しようとしている。	行動の観察・記述の確認
読む能力	アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて、自分の意見を文章にまとめることができる。	グラフや表から読み取った内容を数値で示して、自分の考えを述べることができている。	記述の確認
知識・理解	アンケート調査結果や統計資料に示されたグラフや表の分析方法を理解する。	グラフや表から特徴的な傾向をつかむことができる。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、情報を得て用いようとする。	様々な情報の意味を捉え、疑問に思ったり思索したりしようとする。	行動の観察・記述の確認
読む能力	幅広く本や文章を読み、情報を得て用いている。	様々な情報の意味を捉え、それに基づいて自分の意見をまとめる。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	広告の構成について理解し、その役割表現の特色について理解することができる。		
言語活動	現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し、自分の考えをもって話し合うこと。〔Cの(2)ウ〕		
教材名	広告を読むー実用的な文章	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとする。	実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。	行動の観察
読む能力	広告のねらいや表現の仕方について理解する。	広告のねらいや表現の仕方について理解している。	行動の観察
知識・理解	広告表現の特色について理解する。	広告表現の特色について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	実用的な文章の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとする。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な情報の意味を捉え、それに基づいて自分の意見をまとめる。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	行動の観察

学習のねらい	音読することによって日本語の言葉のリズムを感じ取る。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	日本語の響き	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読することで、美しい言葉の響きを味わおうとする。	繰り返し音読することで、言葉の響きを味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの作品が描いているテーマを読み取る。	それぞれの作品が描いている情景や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	歴史的仮名遣いが現代仮名遣いと異なることを理解する。	表記と読みに違いがあることを理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き，伝統的な言語文化について理解している。	文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き，伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	歴史的仮名遣いや古文の語彙・文法の基本を学ぶとともに、描かれた人間像を理解し、古文の世界に親しむ。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	古文入門 児のそら寝／検非違使忠明／阿蘇の史	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとする。	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取る。	歴史的仮名遣いや古語・文法に注意して内容を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	歴史的仮名遣いと用言について理解する。	歴史的仮名遣いと用言について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	物語の展開を、語句や表現に即して理解するとともに、当時の習俗について学ぶ。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	竹取物語	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとする。	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	語句や表現に即して物語の展開を読み取る。	語句や表現に即して物語の展開を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な助動詞について理解する。	基本的な助動詞について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	登場人物の心理を、状況や行動に即して理解し、歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を学ぶ。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	伊勢物語 芥川／東下り／筒井筒	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解する。	登場人物の心理を読み取り、歌を通して歌物語の特徴を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	歌物語の特徴について理解する。	歌物語の特徴について理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	記述の点検

学習のねらい	筆者の人間観や自然観，美意識などを読み取り，その特色を理解するとともに，自分自身の考え方を深め，視野を広げる。		
言語活動	文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	徒然草	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
読む能力	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深める。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し，自身の考え方を深めている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な助詞について理解する。	基本的な助詞について理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて要約しようとする。	目的に応じて，文章全体をまとめようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて要約している。	目的に応じて，文章全体をまとめている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	和歌の基本を学び、その表現の特色や時代による変遷を知る。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとする。	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解する。	和歌の響きを味わい、込められた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	和歌の特徴と表現技法について理解する。	和歌の特徴と表現技法について理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の分析

学習のねらい	文学的意義を知り、表現の特色を学ぶとともに、当時の制度、風習や旅の様子、作者の心情を理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	土佐日記	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとする。	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解する。	表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	作品の文学的意義を理解する。	作品の文学的意義を理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	文章の構成や展開を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	文章の構成や展開を確かめ、情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	記述の分析

学習のねらい	朗読を通して語り物としての魅力を感じ、軍記物語の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、人間とは何かを考える。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	平家物語	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深める。	朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	敬語の基本について理解する。	敬語の基本について理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいく。	文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいく。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の分析

学習のねらい	筆者の旅への思いや、旅先でのさまざまな体験や感動を読み味わうとともに、俳句・俳文について基本的なことがらを理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	奥の細道	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わおうとする。	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わう。	筆者の思いや感動を読み取り、俳句を味わっている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	俳句の基本について理解する。	俳句の基本について理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き，伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り，我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	記述の分析

学習のねらい	訓点の働きを理解し，漢文を訓読できるようにする。		
言語活動	文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取舍選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	漢文入門	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとする。	漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	故事成語の意味を理解する。	用例としてあげられている故事成語の意味を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解する。	漢文訓読に必要な訓点のきまりを理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	記述の点検

学習のねらい	訓点の働きを理解し，漢文を訓読できるようにする。また，故事成語の意味を把握する。		
言語活動	文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取舍選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	故事成語 推敲／漁父之利／借虎威／蛇足	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとする。	日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぼうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を正確に読み取る。	文章の内容を正確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	訓読のきまりや句法について知識を深める。	訓読のきまりや句法について知識を深めている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え，書き手の考えなどを，間違いなく，過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	漢文を読むことに役立つ，訓読のきまりを身に付けている。	記述の点検

学習のねらい	朗読の工夫をしながら、情景と作者の心情の融合した境地を味わう。併せて漢詩の構成などについて理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	漢詩	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心をもって味わおうとする。	日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心をもって味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの詩の表現している内容・情感を理解する。	それぞれの詩の表現している内容・情感を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	絶句・律詩の基本的な決まりについて理解する。	絶句・律詩の基本的な決まりについて理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き，伝統的な言語文化について理解している。	読むことに必要な文の組立て（又は，文章の組立て，語句の意味，語句の用法，表記の仕方）について理解している。	記述の点検

学習のねらい	現代語訳しながらストーリーの展開を把握し、その過程で重要な句法を理解する。		
言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。〔Cの(2)エ〕		
教材名	史話 鶏口牛後／先従隗始／晏子之御	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C 読むこと ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な史話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わう。	文章に描かれた人物、情景、心情などを話の展開に沿って読み味わっている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認する。	句法・語法を理解した上で、それぞれの話の歴史的背景や出典に関する基本的知識を確認している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	記述の点検

学習のねらい	孔子の言う「学」と「仁」とを理解し、これが孟子の「仁義」「学問」に展開した様相を把握する。		
言語活動	文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。〔Cの(2)イ〕		
教材名	論語・孟子	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとする。	孔子・孟子の主張の重要性について理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解する。	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら内容を的確に理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、儒家の思想について要点を把握する。	句法・語法を理解した上で、儒家の思想について要点を把握している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	記述の点検

学習のねらい	朗読に習熟し、巧みな比喩とその効用を味わいながら、筆者の意図を把握する。		
言語活動	文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Cの(2)ア〕		
教材名	雑説	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C 読むこと イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(7)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持つようとする。	漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持つようとしている。	行動の観察
読む能力	巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解する。	巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で、韓愈の主張とその思想史上の位置について基本事項を把握する。	句法・語法を理解した上で、韓愈の主張とその思想史上の位置について基本事項を把握している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述する。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解する。	我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	記述の点検

学習のねらい	文章に即して内容・テーマを読み取り，作者の意図を把握する。		
言語活動	文章を読んで脚本にしたり，古典を現代の物語に書き換えたりすること。〔Cの(2)ア〕		
教材名	復活	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	指導事項C イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(ア) (イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持つようとする。	漢文の名文を読み味わおうとする関心・姿勢を持つようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に即して内容・テーマを読み取り，現代の物語への書き換えなどを通して作者の意図をより深く理解する。	文章に即して内容・テーマを読み取り，現代の物語への書き換えなどを通して作者の意図をより深く理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	句法・語法を理解した上で，文章の背後にある思想や世界を理解する。	句法・語法を理解した上で，文章の背後にある思想や世界を理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け，なぜこの文章を書いたのか，なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き，伝統的な言語文化について理解しようとする」。〔事項〕のア(ア)	我が国の言語文化は，中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。	記述の点検